



# やつしろ

第62号

令和3年  
2月1日発行

令和2年12月定例会

## 市議会だより



▲令和2年12月14日、5カ月ぶりの校舎に登校する坂本町八竜小学校の児童たち  
(同日、坂本中学校も授業を再開)

### 令和2年12月定例会会期日程

- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| 11月30日(月) | 本会議／開会             |
| 12月 8日(火) | } 本会議／質疑・一般質問      |
| 10日(木)    |                    |
| 14日(月)    | 文教福祉委員会<br>建設環境委員会 |
| 15日(火)    | 経済企業委員会<br>総務委員会   |
| 18日(金)    | 本会議／討論・採決          |

### 目次

- 予算／条例制定・改正 …………… 2～4
- 令和元年度決算 …………… 5
- 質疑・一般質問 …………… 6～10
- 委員長報告 …………… 11～12
- 採決結果 …………… 13
- 特集記事 …………… 14～15
- 編集後記 …………… 16

編集・文責／八代市議会広報委員会

12月定例会は、11月30日から12月18日まで開催され、条例議案10件、予算議案13件、決算議案11件、人事議案3件、その他8件を審議しました。  
主な議案は、次のとおりです。

## 条例制定・改正など (主なものを抜粋して掲載)

### 八代市国民健康保険税条例の一部改正について

可決

令和3年1月1日施行の個人所得課税の見直し（給与所得控除や公的年金等控除から基礎控除へ10万円の振替等）に伴い、国民健康保険税の負担水準に関して意図せざる影響や不利益が生じないように、所要の改正を行うもの（令和3年1月1日施行）

#### (改正内容)

国民健康保険税の軽減判定基準額の算定において、基礎控除額相当分の基準額を33万円から43万円に引き上げるとともに、被保険者のうち一定の給与所得者と公的年金等の支給を受ける者の数の合計数から1を減じた数に10万円を乗じて得た金額を加える。

#### (軽減判定基準額)

|         | 改正前                          | 改正後  |
|---------|------------------------------|--|
| 7割軽減基準額 | 基礎控除額 33万円                   | 基礎控除額 43万円<br>+ 10万円×(給与所得者等の数-1)                |
| 5割軽減基準額 | 基礎控除額 33万円<br>+ 28.5万円×被保険者数 | 基礎控除額 43万円 + 28.5万円×被保険者数<br>+ 10万円×(給与所得者等の数-1) |
| 2割軽減基準額 | 基礎控除額 33万円<br>+ 52万円×被保険者数   | 基礎控除額 43万円 + 52万円×被保険者数<br>+ 10万円×(給与所得者等の数-1)   |

### 八代市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について

可決

人事院勧告に基づく特別職の国家公務員の給与改定に準じ、市議会議員の期末手当の支給月数を改定(0.05か月分引下げ)するもの(公布の日施行。ただし、令和3年度以降に支給する期末手当については、令和3年4月1日から施行)

|         |     | 6月    | 12月   | 年間   |
|---------|-----|-------|-------|------|
| 令和2年度   | 改定前 | 1.70  | 1.70  | 3.40 |
|         | 改定後 | 1.70  | 1.65  | 3.35 |
| 令和3年度以降 |     | 1.675 | 1.675 | 3.35 |

### 契約の締結について

可決

予定価格1億5,000万円以上の工事請負契約の締結について、八代市議会の議決に付すべき契約に関する条例第2条の規定により議会の議決を求めるもの

- ・工事名 八代市新庁舎建設電気付帯工事
- ・工事場所 八代市松江城町1番25号
- ・契約金額 246,400,000円
- ・相手方 ユーテックス・上田電気商会・八光電業建設工事共同企業体

# 予算

## 令和2年度12月補正予算

### 可決

### 一般会計 8億6,500万円

### (一般財源 1億2,798万円)

(主なものを抜粋して掲載)

※人件費等に関する先議分を除く

### 議会運営事務事業 (減額補正)

### △320万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、各常任委員会及び議会運営委員会の管外行政視察を市議会として今年度自粛することに伴い、当該視察に係る旅費を減額し、その減額分を市で実施している感染症対策の施策に活用するため減額補正するもの。

#### ◆減額した経費

- △7万5千円×7人×4常任委員会 = △210万円
- △10万円×11人 (議会運営委員会) = △110万円



### 令和2年7月豪雨災害関連事業

### 5億942万円

(主なものを抜粋して掲載)

#### ◆災害復旧事業

#### 4億3,222万円

- ・林道施設災害復旧事業 3億1,100万円
- ・農業施設災害復旧事業 6,317万円
- ・道路橋梁施設災害復旧事業 3,875万円
- ・商工施設災害復旧事業 1,600万円 等

#### ◆球磨川流域復興基金交付金活用事業

#### 956万円

- ・被災者転居費用等助成事業 640万円
- ・被災者見守り対策事業 139万円
- ・水道施設補助金事業 104万円 等

#### ◆消防団整備事業

#### 3,744万円

- ・坂本方面隊の資機材・装備品の整備

#### ◆並行在来線経営分離対策事業

#### 1,750万円

- ・肥薩おれんじ鉄道の本格復旧及び経営安定化を図るための補助

#### ◆生活交通確保維持事業

#### 634万円

- ・坂本地区の生活移動を支援するための代替輸送を委託

### 新型コロナウイルス感染症対策関連事業

### 3,829万円

(主なものを抜粋して掲載)

#### ◆新型コロナウイルス感染症対策事業 (農林漁業者等事業継続対策特別支援金)

#### 2,500万円

- ・売上が減少した農林漁業者へ事業の継続を図るための支援金が見込数を上回るため増額する経費

#### ◆新型コロナウイルス感染症対策事業 (指定管理施設)

#### 1,179万円

- ・市有施設2カ所について、新型コロナウイルス感染症の影響により悪化した収支の赤字分の一部を指定管理者へ補てんするもの

# 令和2年度10月補正予算(10月2日専決分)

(主なものを抜粋して掲載)

## 9億8,000万円

承認

令和2年7月豪雨災害の復旧・復興及び新型コロナウイルス感染症対策を迅速に実施するため、令和2年10月2日付けで専決処分により予算措置が行われました。

### 災害見舞金等支給事業(豪雨災害)

令和2年7月豪雨により、住家に被害を受けた世帯等に対し、1世帯あたり10万円の災害見舞金を支給するもの。

#### ◆対象世帯

- ①令和2年7月豪雨により、その居住する住家について、り災証明書の交付を受けた世帯
- ②ライフライン(水道、電気、ガス、道路等)が途絶するなど、長期にわたり自らの住家に居住できないため、災害救助法における応急仮設住宅の供与の対象に認定された世帯

#### ◆災害見舞金

5,000万円(10万円×500世帯)

### 担い手づくり総合支援交付金事業(豪雨災害)

令和2年7月豪雨について、国の「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」の被災農業者支援型の適用が決定したこと、また県において、被災農業者の復興をさらに後押しするために、市町村と同率を条件とした、最大2割の上乗せ補助を決定したことから、本市においても、2割の上乗せ補助を実施し、令和2年7月豪雨災害により農業被害を受けた農業者が農業経営を維持していくために必要な農産物の生産施設等の復旧や農業用機械等の再取得に要する経費の一部を補正するもの。

◆対象地区：二見地区(2件)・日奈久地区(2件)、坂本地区(7件)

◆事業費：3,020万7千円

◆事業内容：トラクター・コンバイン等の再取得・修繕、農舎・防護柵等の修繕

◆補助額：2,714万2千円(県7/10以内 ※うち5/10以内は国費、市2/10以内)

### 被災者生活再建支援事業(豪雨災害)

令和2年7月豪雨により被災した世帯の見守りや相談支援等を行い、被災者の早期の生活再建を図るため、「八代市地域支え合いセンター」を運営する経費を補正するもの。

八代市地域支え合いセンター運営委託料：1,887万2千円

※本事業は、八代市社会福祉協議会に委託



### 新型コロナウイルス感染症対策事業

#### ◆アドバイザー育成・派遣事業

新型コロナウイルス感染症予防対策として実施する「感染予防対策アドバイザー育成・派遣業務」の実施に係る経費を補正するもの。

- ・委託料 1,760万円
- ・委託期間 令和2年10月～令和3年2月
- ・実施主体 八代商工会議所

#### ◆予防対策支援・拡充

八代市新型コロナウイルス感染症予防対策支援補助金の対象事業所等を拡充し、新たに予防対策支援事業を実施するために係る経費を補正するもの。

- ・補助金額：10万円×2,700件＝2億7,000万円
- ・申請期間：令和2年10月～令和3年1月



|           | 拡充前      | 拡充後                  |
|-----------|----------|----------------------|
| 対象事業所数    | 2,600事業所 | 5,500事業所             |
| 補助金額(上限額) | 5万円      | 10万円                 |
| 対象経費      | 消耗品費や備品等 | 消耗品費や備品等<br>換気扇等改修工事 |

※施設等1件につき、対策した費用の3/4(上限10万円)相当額補助

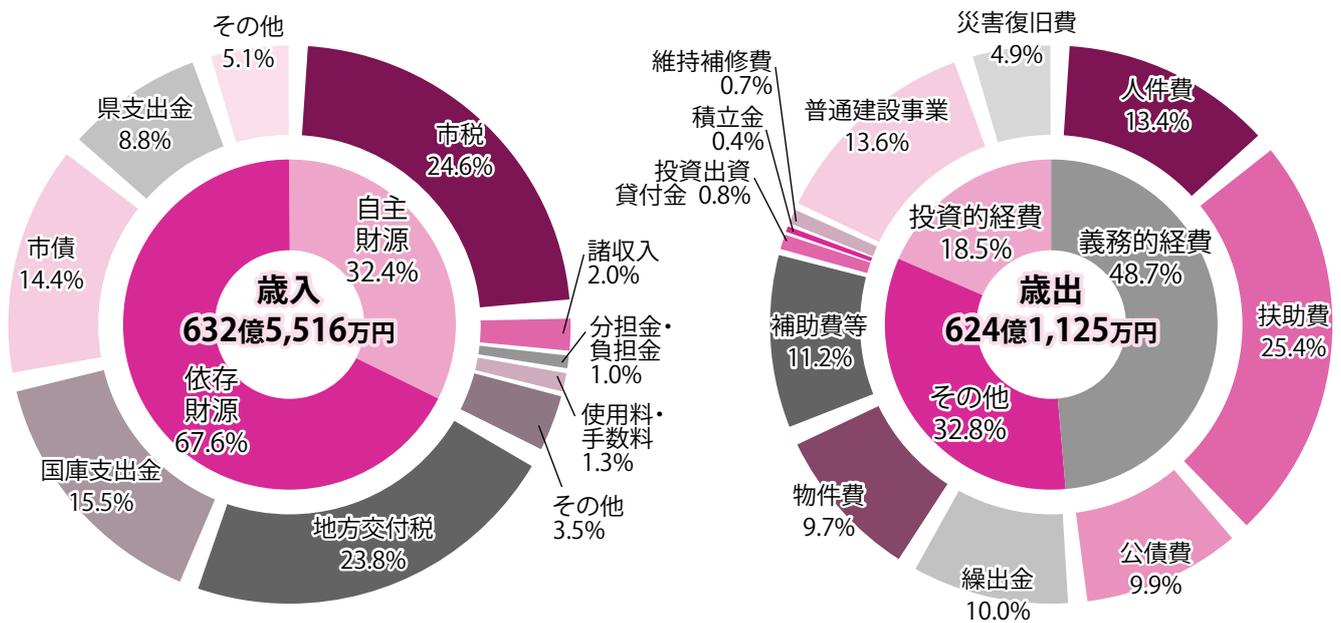
# 令和元年度 一般会計・特別会計歳入歳出決算を認定

12月定例会開会日に、各常任委員会から延べ4日間にわたって開催された委員会での審査結果の報告があり、一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の11件が認定されました。このページでは、主に一般会計の決算について報告します。

## 令和元年度一般会計決算概要

◆歳入 632億5,516万円

◆歳出 624億1,125万円



### 【歳入】 前年度比較

・対前年比 4.7%減

(31億5,340万7,000円 減)

### 【歳出】 前年度比較

・対前年比 4.1%減

(26億7,496万7,000円 減)

### 【歳入・歳出減の主な理由など】

強い農業づくり支援事業において、低コスト耐候性ハウスの整備件数が例年より少なかったことによる県支出金の減少のほか、平成28年度から平成30年度までの継続事業として整備されてきた環境センター整備事業の完了により、大きく減少したことが主な要因となっています。

歳入総額から歳出総額を差し引いた額は8億4,391万3,000円となり、この額から翌年度へ繰越すべき財源の計1億2,988万2,000円を差し引いた実質収支額は7億1,403万1,000円の黒字となっています。

## 特別会計 (10会計)

◆歳入 349億9,374万2千円

◆歳出 337億1,237万7千円

# 質 疑

# 一 般 質 問



議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、12月8日からの3日間、12人が通告・登壇し、幅広い活発な議論が展開されました。

主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとおりです。

## 令和2年度12月定例会 質疑・一般質問一覧 (通告順)

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 上村 哲三 議員<br>(自由民主党 絆) | 1 令和2年7月豪雨災害について  |
| 野崎 伸也 議員<br>(改革・市民の会) | 1 令和3年度当初予算編成方針について<br>2 健康診断の受診状況について<br>3 新型コロナウイルス感染症対策の実施状況について<br>4 環境センターの運営状況について<br>5 八代妙見祭PR看板の劣化について              |
| 増田 一喜 議員<br>(自由民主党 絆) | 1 令和2年7月豪雨災害を踏まえた防災体制の強化について<br>2 坂本町の復旧・復興に向けた取組について   |
| 大倉 裕一 議員<br>(改革・市民の会) | 1 令和2年7月豪雨災害に対する市長の政治姿勢について<br>2 災害の検証から見た課題と今後の取組について<br>3 八代市中期財政計画と令和3年度当初予算編成方針について                                     |
| 西濱 和博 議員<br>(新風)      | 1 第10次八代市交通安全計画の総括及び次期計画について<br>2 特別支援教育環境等のさらなる充実に向けた取組について<br>3 地域人口の急減に対処する総務省所管の特定地域づくり事業協同組合制度について                     |
| 百田 隆 議員<br>(自由民主党 絆)  | 1 災害弱者対策について<br>2 定住自立圏構想について<br>3 南朝を支えた中世山城の遺構と関連する歴史文化遺産について   |
| 古嶋 津義 議員<br>(自由民主党 絆) | 1 令和3年度当初予算編成方針について<br>2 市立幼稚園の在り方について<br>3 入札の在り方について<br>4 企業誘致について<br>5 第76回県民体育祭八代大会について                                 |
| 堀 徹男 議員<br>(改革・市民の会)  | 1 町内会で管理しているごみ集積所の現状と課題について<br>2 国指定史跡八代城跡群を含む市内城跡保存管理事業の現状及び観光資源としての歴史文化遺産の活用について  |
| 橋本 隆一 議員<br>(公明党)     | 1 被災者生活再建支援制度及び災害見舞金等支給事業について<br>2 教育現場における新型コロナウイルス感染症対策について<br>3 児童虐待の現状と取組について<br>4 母子健康手帳アプリについて<br>5 医療用ウィッグの認識と支援について |
| 橋本徳一郎 議員<br>(日本共産党)   | 1 令和2年7月豪雨災害に係る復旧・復興計画と球磨川流域治水について<br>2 新型コロナウイルス感染症に対する本市の取組について<br>3 義務教育課程における少人数学級について                                  |
| 橋本 幸一 議員<br>(自由民主党 和) | 1 GIGAスクール構想の取組について<br>2 本市の重点戦略の進捗について<br>3 本市の将来を見据え取り組むべき政策について  |
| 亀田 英雄 議員<br>(改革・市民の会) | 1 令和2年7月豪雨災害の検証について<br>2 坂本町の復旧・復興について<br>3 新型コロナウイルス感染症対策に対する本市の取組について   |

◆令和二年七月豪雨災害について



上村 哲三



**問** 蒲島知事は、今回の豪雨災害の検証から、球磨川流域治水対策について「命と環境を守り、ダムを排除せず、全ての減災手法を検証して取り組む」と表明された。そこで、今後の治水に対する考えについて市長に伺う。さらに、今議会の冒頭、一般の政府要望の折、坂本パーキングエリアにスマートインターチェンジ設置を要望したとの市長の発言があった。本件は、私が平成九年から求め続けたもので、復旧・復興には不可欠。市長の設置への思いを伺う。

**答** 市長

今回のような豪雨への対策を講じること、喫緊の課題と認識している。国・県に対して、球磨川の護岸や堤防の復旧、堆積土砂の撤去などの河川機能の回復等を早急に行っていたらどうか、強く要望する。本市としても、ソフト・ハード両面において出来ることから実施し、緑の流域治水対策に取り組む。また、安全で堅固な幹線道路とのアクセシビリティを高めることは、地域住民が安心した暮らしを取り戻すための円滑な復旧作業の観点からも重要である。坂本町の創造的復興を成し遂げるためにも、スマートインターチェンジの設置に向け、全力で取り組む。

◆八代妙見祭PR看板の劣化について



野崎 伸也



**問** 妙見祭をPRする巨大ガメ看板は、八代市民はもとより沢山の方が写真に収める姿が見られ、親しまれている。駅前晩白柚くまモンと一緒に改修された八代駅、妙見祭のガメ看板をバックに写真撮影する最高のインスタ映えスポットとなるはずだった。しかし、最近のガメ看板の劣化はひどい状態で、せつかくのくまモンも可哀そうでない。この件は二年前に一般質問で取り上げましたが、前回の質問以降の対応状況と今後の方向性について伺う。

**答** 経済文化交流部長

八代妙見祭PR看板については、八代妙見祭の神幸行事が国の重要無形民俗文化財に指定される動きの中で、日本製紙株式会社から寄附金の申し出を受け、八代妙見祭活性化協議会、及び八代市との三者にてPR看板についての覚書を取り交わし、市民の皆様からの寄附金も募り設置したものの、PR看板の劣化状況や作業工法等について現場で確認作業を行ってきた。今後、PR看板の設置から十年経過することもあり、劣化状況を踏まえて、修復方法や活用方法など様々なアイデアについて、覚書に基づき三者での協議の場を設け、検討していく。

◆坂本町の復旧・復興に向けた取組について



増田 一喜



**問** 被災者の見守り体制について、早期の生活再建を図るため、地域支え合いセンターが設置されている。そこで設置目的、設置に至った経緯、人員体制、対象となる世帯及び活動内容について伺う。また、被災者は元の住まいから離れた場所や応急的修理を行った元の場所の家で生活されている。今後、どのように住まいの確保を進めて行くのか伺う。さらに、坂本支所の再建位置について、今後どのようなスケジュールで決定していくのか伺う。

**答** 健康福祉部長・総務企画部長・市長

地域支え合いセンターについては、被災者の生活再建と自立支援を目的に、社会福祉協議会へ委託し、主任生活支援員一名と生活支援相談員八名体制で設置した。仮設住宅入居世帯や在宅被災世帯等へ、総合相談受付や訪問活動による生活状況確認、見守り安否確認等を行っている。住いの確保については、速やかな対応が必要と認識しており、被災者へのアンケート調査を開始。結果等を踏まえ、地域の皆様と一緒に検討していく。支所の再建位置については、復興計画に候補地が盛り込まれる予定である。今後、有識者の御意見もいただき、三月までには位置を示したい。



大倉 裕一



◆災害の検証から見えた課題と今後の取組について

**問** 災害を振り返り、評価や反省をし、見直しをしていくことがより良い計画や対応になる。本年の災害を経験し、その検証からどのような課題が見えてきたのか、課題とその取組を伺う。また、避難所は安全な場所であることが原理原則と考える。他市では避難所に避難中、飛来物によるガラス破片でケガをされた例もあるが、本市の対策状況と考えを伺う。併せてコロナ禍において、避難所の混雑状況がわかるアプリの導入が有効と考えるが、市の考えを伺う。

**答** 総務企画部長

令和二年七月豪雨では、道路や通信等の寸断による情報収集や発信、長期間の避難所運営に必要なスタッフの確保などに課題があった。これらの課題を検証し、より効果的なものとなるよう来年の出水期前までに地域防災計画の見直しを行う。避難所での飛来物対策としては、窓から離れる、カーテンを閉めるなどの対策を引き続き行い、その旨を避難所運営マニュアルに記載する。

また、パソコン等で避難所に行く前にその収容状況を確認できる仕組み作りを検討している。



西濱 和博



◆特別支援教育環境等のさらなる充実に向けた取組について

**問** 文部科学省は、新型コロナウイルス感染症対策として、特別支援学校におけるスクールバスの増便を促している。熊本県教育委員会では、県立の特別支援学校の平均乗車率が八十九パーセントであったことから、既にバスの増便対策を講じている。今般、文部科学省はスクールバスの増便により、一回の乗車率を五十パーセント程に抑えるため、補助金を拡充する方針を固めたとのこと。そこで、八代支援学校の同バスの運行状況に鑑み増便を提案するが見解を伺う。

**答** 教育部長

八代支援学校ではスクールバス五台を運行しており、乗車率の平均は八八・七%となっている。本市のコロナ禍におけるスクールバスへの対策として、当日の健康チェック及び検温、乗車時の手の消毒を実施。また、こまめな車内消毒及び走行時の車内換気等を行うとともにオゾン発生器を各バスに設置した。スクールバスの増便については、現在の平均乗車率が9割近くになっており、身体的弱者である支援学校の子どもの感染について懸念するところもある。国で補助金拡充について検討されているようにあり、密解消のため検討を進めていく。



百田 隆



◆災害弱者対策について

**問** 高齢者や障がい者は、災害時に自力で避難行動に移ることは困難である。本市は、高齢者や障がい者を支援することを目的に平成二十八年三月、避難行動要支援者に対する避難支援計画を策定した。本計画の内容は、要支援者の名簿作成及びその名簿に基づく避難支援者への情報提供の同意、個別の避難計画の策定を促すものである。しかしながら、これらの計画内容に依る要支援者が少ない現状があることから、その対策について伺う。

**答** 健康福祉部長

毎年十二月に新たに避難行動要支援者として登録された方や、これまでの情報提供の同意について確認が取れていない方へ通知を行うことで制度の周知と情報提供への同意を促すとともに、避難支援者の登録についても、勧奨を行っているところである。

併せて、その旨を民生委員にもお知らせし、この制度についてのお問い合わせがあった方には、その御案内や記入方法についての支援をお願いすることとしている。また、市のホームページや広報やつしろでも、この制度の周知を行っているところである。



古嶋 津義



◆企業誘致について

**問** 企業誘致は、新たな雇用や税収の増加など、地域経済の活性化に繋がる重要な施策である。本市においても、最近はおフィス系企業の進出が顕著である。また、新型コロナウイルス感染症拡大により、ICTの活用やテレワークなどの新たな働き方が広がり、就職するために本市へ移住・定住する人の動きもある。そこで市長二期目における企業誘致の実績と今後の方針について伺う。

**答** 経済文化交流部長

企業誘致の実績については、企業の投資件数が、平成二十九年度七件、平成三十二年十七件、令和元年度も同じく十七件と直近二カ年は平成十七年の本市合併以降、最多であった。今後の企業誘致の方針として、注力しているのが、求職者の希望が多い事務的企業や情報技術に関わるIT企業などの誘致である。そのため、プログラミングスクール等の人材育成にも取り組んでいる。今後は、地元企業とオフィス系企業の連携によるDXを推進するとともに、このような取組みを広く情報発信し、本市の魅力向上を図ることで、「人と企業に選ばれらるるま」を目指したい。



堀 徹男



◆町内会で管理しているごみ集積所の現状と課題について

**問** ごみの集積所における一部の不適切排出物の対応については、町内会長・市政協力員の方や近隣住民の御尽力により成り立っている。違反シールや看板などの周知啓発では対応にも限界があり、やむなく次の手段として「監視カメラを市で購入し、その貸出しが出来ないものか」との要望も伺っている。本市の決算審査における主要な施策の調書の中にも、監視カメラの導入について検討が必要とある。そこで、これまでの経緯について伺う。

**答** 市民環境部長

ごみ集積所での不適切な排出に対しては、啓発看板の掲示や違反シールを貼るなど、排出者に引き取りをお願いしているものの、改善されない集積所もあるため、一部の町内では監視カメラの導入やその対策を市に要望されている状況である。

市としても対応に苦慮しており監視カメラの導入について検討を開始したが、プライバシー保護の問題など解決すべき課題も多いことから、慎重な検討が必要だと考えている。しかしながら、後を絶たない不適切な排出を防止するため、今後も更なる啓発の実施に努める。



橋本 隆一



◆母子健康手帳アプリについて

**問** 母子健康手帳は、妊娠中、出産新生児、それぞれの時期を通して母と子の一貫した健康管理を記録する手帳となっている。他自治体において、活用されている母子健康手帳アプリについて、本市においてはどの様に認識しているか。また、今後の方向性についてどの様な見解をお持ちか伺う。

**答** 健康福祉部長

母子健康手帳アプリは、行政が配信する情報の受け取りや、予防接種のスケジュール管理等が可能であり、母子健康手帳をなくした際のバックアップとしても有用であると認識している。一方で、アプリ登録者の情報を市で管理することができないため、市が保有する乳幼児健康等のデータの活用や個別の情報配信ができない等の課題もある。本市としても、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を一層充実させるため、ICTの活用は必要不可欠であると考えている。今後、国の動きや他自治体の取組状況等を参考にしながら、導入について検討してまいりたい。





橋本 徳一郎



◆令和二年七月豪雨災害に係る復旧・復興計画と球磨川流域治水について

**問** 令和二年九月市議会において、坂本町復興計画策定の際は、客観的な検証によるデータの反映、地域住民の想いを重視したものとすることを強く要望した。一方、同年十二月二日の県議会一般質問において検証委員会の結論に矛盾が指摘されている。また、坂本支所の四候補地決定についても被災住民には情報が届いていなかったと聞く。そこで、計画策定スケジュールでは地区別懇談会は一回の開催となっているが、当該懇談会の追加実施について問う。

**答** 総務企画部長

復興計画策定に当たっては、地域住民の御意見を反映させることが大変重要であり、坂本町の各地域や各種団体の皆様との地域懇談会や旧小学校八校区ごとの地区別懇談会、仮設住宅二箇所での意見交換も実施した。

計画の最終的な取りまとめを行う第三回策定委員会の前には第三回地域懇談会を開催し、坂本町の各地域、各分野の皆様の見解は幅広く計画に反映されるものと認識している。十二月中旬には、策定委員会から市長へ復興計画案が提言される予定であり、その後、パブリックコメントを実施する。その際には、特に坂本町の皆様へ十分な周知を行いたい。



橋本 幸一



◆本市の将来を見据え取り組むべき政策について

**問** 現在、本市においては、第二期八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定中のことであるが、基本的な考え方を問う。また、ソサエティ5.0（第五の新たな未来社会）、SDGs（持続可能な開発目標）といった新しい時代の流れの中、策定中の第二期八代市総合戦略を踏まえ、将来を見据えた本市の在り方、ビジョンについて問う。さらに、重点戦略及び災害対応における課題、今後取り組むべき政策を視野に、市長の三期目出馬について問う。

**答** 総務企画部長・市長

現在策定中の第二期総合戦略では、若者をはじめとした多様な世代が、いきいきと暮らし、働き、子育てできるまちとなるために、あらゆる分野においてIoTやAI等の先端技術を総動員し、スマートシティの実現に向けた取り組みを進める。第二期総合戦略の目指すべき将来像である、「ソサエティ5.0において人と企業に選ばれるまち、やつしろ」の実現」が、まさに本市の未来を見据えたビジョンであると考え

る。坂本町の復興や「大好きな八代」を未来に向けて飛躍させることが、私に与えられた使命であるとの思いに至り、ここに三期目に挑戦することを表明する。



亀田 英雄



◆坂本町の復旧・復興について

**問** 現在、本市においては、坂本町の復興計画のための会議を鋭意重ねられており、何度が傍聴させていただいた。改めて確認の意味も含めて、坂本町の復興計画とは、そもそもどのようなものか。また、市としてのコンセプト、復興計画の中で大事なことはどのように考えているのか。さらに、これからの坂本町をどのように考えて造っていくのかも含め、復興計画について問う。

**答** 総務企画部長

被災された方々をはじめ、地域住民の皆様は復興への道筋を示し、不安の早期解消に努めるため、十二月を中途として復興計画の策定を進めている。計画には、くらしやコミュニティ、産業や経済、社会基盤や防災等の分野ごとに、基本目標、基本方針、主要な施策、更に具体的な施策と整理し、それにひもづく具体的な事業等を短期、中期、長期と時間軸と合わせて掲載する。この計画において重要なのは、被災された方々はもとより、地域住民の方々が坂本町に安全に安心して暮らしたい、将来に向けて希望が持てる施策をお示しすることである。

# 委員長報告

## 文教福祉委員会

付託されました予算案八件、条例案三件及び事件二件については次のとおりです。

・議案第百十号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十一号（関係分）

・議案第百十一号・令和二年度八代市後期高齢者医療特別会計補正予算・第一号

・議案第百十二号・令和二年度八代市介護保険特別会計補正予算・第三号

・議案第百十四号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十二号（関係分）

・議案第百十五号・令和二年度八代市国民健康保険特別会計補正予算・第三号

・議案第百十六号・令和二年度八代市後期高齢者医療特別会計補正予算・第二号

・議案第百十七号・令和二年度八代市介護保険特別会計補正予算・第四号

・議案第百十九号・令和二年度八代市診療所特別会計補正予算・第一号

・議案第百三十二号・八代市介護保険条例の一部改正について

・議案第百三十三号・八代市国民健康保険税条例

の一部改正について

・議案第百三十四号・八代市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

の十一件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

次に

・議案第百二十三号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十号（関係分）に係る専決処分の報告及びその承認について

・議案第百二十五号・八代市立希望の里たいように係る指定管理者の指定について

の二件については、慎重に審査した結果、全会一致で、承認及び可決しました。

## 建設環境委員会

付託されました予算案四件、条例案一件及び事件一件については次のとおりです。

・議案第百十号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十一号（関係分）

・議案第百十三号・令和二年度八代市下水道事業会計補正予算・第一号

・議案第百十四号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十二号（関係分）

・議案第百二十二号・令和二年度八代市下水道事業会計補正予算・第二号

・議案第百三十一号・八代市公共下水道事業（八

代処理区・八代東部処理区）受益者負担及び受益者分担に関する条例及び八代市都市計画下水道事業（鏡処理区）受益者負担に関する条例の一部改正について

の五件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

次に

・議案第百二十四号・契約の締結について  
の一件については、慎重に審査した結果、全会一致で、可決しました。

## 経済企業委員会

付託されました予算案四件、条例案一件及び事件一件については次のとおりです。

・議案第百十号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十一号（関係分）

・議案第百十四号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十二号（関係分）

・議案第百二十号・令和二年度八代市水道事業会計補正予算・第一号

・議案第百二十一号・令和二年度八代市簡易水道事業会計補正予算・第四号

・議案第百三十五号・八代市企業立地促進に関する固定資産税の課税免除を定める条例の一部改正について

の五件については、慎重に審査した結果、全会一

致で、原案のとおり可決しました。

次に

・議案第百二十三号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十号（関係分）に係る専決処分の報告及びその承認について  
の一件については、慎重に審査した結果、全会一致で、承認しました。

## 総務委員会

付託されました予算案三件、条例案四件及び事件一件については次のとおりです。

- ・議案第百十号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十一号（関係分）
- ・議案第百二十七号・八代市長等の給与に関する条例の一部改正について
- ・議案第百二十八号・八代市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について
- ・議案第百十四号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十二号（関係分）
- ・議案第百十八号・令和二年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算・第二号
- ・議案第百二十九号・八代市職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について
- ・議案第百三十号・八代市税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例の一部改正について

の七件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

次に、

・議案第百二十三号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第十号（関係分）に係る専決処分の報告及びその承認について  
の一件については、慎重に審査した結果、全会一致で、承認しました。

## 議会運営委員会

付託されました条例案一件については次のとおりです。

・議案第百二十六号・八代市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について  
の一件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。



### 条例の制定 意見書

◎令和2年12月議会において、議員発議による条例案1件が提出され、原案のとおり可決しました。

◆八代市農林水産物振興条例の制定について

（制定の主旨）本市の食と農林水産業振興及び農山漁村振興のための条例

◎令和2年12月議会において、議員発議による意見書6件が提出され、全会一致で原案のとおり可決されました。なお、本意見書は、国及び政府へ送付いたしました。

◆軽油引取税の課税免除の特別措置の継続を求める意見書

◆緊急自然災害防止対策事業の継続を求める意見書

◆過疎地域自立促進特別措置法の失効に伴う新たな法律の制定に関する意見書

◆医療・介護の一部負担金・利用料の免除等に対する国の財政支援の延長を求める意見書

◆被災者生活再建支援法の拡充・改善を求める意見書

◆農家が安定し持続可能となる制度の拡充を求める意見書

# 令和2年12月定例会採決結果

〔全会一致で可決した議案〕

| 議案番号     | 議案名   |
|----------|---|
| 議案第 98号  | 令和元年度八代市一般会計歳入歳出決算  |
| 議案第 99号  | 令和元年度八代市国民健康保険特別会計歳入歳出決算  |
| 議案第 100号 | 令和元年度八代市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算   |
| 議案第 101号 | 令和元年度八代市介護保険特別会計歳入歳出決算  |
| 議案第 102号 | 令和元年度八代市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算  |
| 議案第 103号 | 令和元年度八代市農業集落排水処理施設事業特別会計歳入歳出決算  |
| 議案第 104号 | 令和元年度八代市浄化槽市町村整備推進事業特別会計歳入歳出決算  |
| 議案第 105号 | 令和元年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算   |
| 議案第 106号 | 令和元年度八代市診療所特別会計歳入歳出決算   |
| 議案第 107号 | 令和元年度八代市久連子財産区特別会計歳入歳出決算  |
| 議案第 108号 | 令和元年度八代市椎原財産区特別会計歳入歳出決算   |
| 議案第 110号 | 令和2年度八代市一般会計補正予算（第11号）  |
| 議案第 111号 | 令和2年度八代市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）  |
| 議案第 112号 | 令和2年度八代市介護保険特別会計補正予算（第3号）   |
| 議案第 113号 | 令和2年度八代市下水道事業会計補正予算（第1号）  |
| 議案第 114号 | 令和2年度八代市一般会計補正予算（第12号）  |
| 議案第 115号 | 令和2年度八代市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）   |
| 議案第 116号 | 令和2年度八代市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）  |
| 議案第 117号 | 令和2年度八代市介護保険特別会計補正予算（第4号）   |
| 議案第 118号 | 令和2年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第2号）  |
| 議案第 119号 | 令和2年度八代市診療所特別会計補正予算（第1号）  |
| 議案第 120号 | 令和2年度八代市水道事業会計補正予算（第1号）   |
| 議案第 121号 | 令和2年度八代市簡易水道事業会計補正予算（第4号）   |
| 議案第 122号 | 令和2年度八代市下水道事業会計補正予算（第2号）  |
| 議案第 123号 | 専決処分の報告及びその承認について（令和2年度八代市一般会計補正予算（第10号））   |
| 議案第 124号 | 契約の締結について   |
| 議案第 125号 | 指定管理者の指定について（八代市立希望の里たいよう）  |
| 議案第 126号 | 八代市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について  |
| 議案第 127号 | 八代市長等の給与に関する条例の一部改正について   |
| 議案第 128号 | 八代市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について  |
| 議案第 129号 | 八代市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について  |
| 議案第 130号 | 八代市税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例の一部改正について  |
| 議案第 131号 | 八代市公共下水道事業（八代処理区・八代東部処理区）受益者負担及び受益者分担に関する条例及び八代市都市計画下水道事業（鏡処理区）受益者負担に関する条例の一部改正について |
| 議案第 132号 | 八代市介護保険条例の一部改正について  |
| 議案第 133号 | 八代市国民健康保険税条例の一部改正について   |
| 議案第 134号 | 八代市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について   |
| 議案第 135号 | 八代市企業立地促進に関する固定資産税の課税免除を定める条例の一部改正について  |
| 議案第 136号 | 人権擁護委員候補者の推薦について  |
| 議案第 137号 | 人権擁護委員候補者の推薦について  |
| 議案第 138号 | 人権擁護委員候補者の推薦について  |
| 発議案 8号   | 八代市農林水産物振興条例の制定について   |
| 発議案 9号   | 軽油引取税の課税免除の特例措置の継続を求める意見書案  |
| 発議案 10号  | 緊急自然災害防止対策事業の継続を求める意見書案   |
| 発議案 11号  | 過疎地域自立促進特別措置法の失効に伴う新たな法律の制定に関する意見書案   |
| 発議案 12号  | 医療・介護の一部負担金・利用料の免除等に対する国の財政支援の延長を求める意見書案  |
| 発議案 13号  | 被災者生活再建支援法の拡充・改善を求める意見書案  |
| 発議案 14号  | 農家が安定し持続可能となる制度の拡充を求める意見書案  |

# 令和2年7月豪雨災害に対する 八代市議会活動報告

特集

本号では、前号（市議会だより第61号：令和2年9月定例会）で特集いたしました内容の続編を掲載いたします。

## ◎7月4日（発災直後からの市議会の主な動き）

■7月4日 発災

・八代市議会  
災害対策会議設置

調査・活動

（情報収集、ボランティア活動など）

■11月13日

・八代市議会  
災害対策会議開催  
・4つの部会長から部会  
活動報告  
・今後、市議会としての  
活動方針協議

■市災害対策本部会議  
へ出席  
（第1回～40回）

市災害対策本部会議に正副議長が出席し、会議の内容を全議員へ毎回周知

9月9日  
■八代市議会災害  
対策会議（全体会議）開催

・災害情報の共有  
・市議会対策会議内に災害  
調査のための部会を設置

9月9日～  
11月12日まで  
各部会活動

・4つの部会において、  
調査内容・目的を定め  
活動を実施

## ◎各部会活動報告（11月13日）

令和2年11月13日開催の「八代市議会災害対策会議」において、各部会活動の内容・調査結果について、各部長から報告がありました。

このことにより、全議員間において、今回の豪雨災害に伴う、情報や課題についての共有を図るとともに、今後、市議会としての活動方針等について協議を行いました。

### 総務部会

- 調査内容：八代市地域防災計画の調査等について  
公共交通機関等、坂本支所ほか関連施設の現地調査
- 調査目的：発災後の対応の基本である当該計画の検証



坂本支所周辺の調査



鎌瀬橋落橋状況の確認



坂本橋周辺の調査

## 建設環境部会

- 調査内容：災害ごみ及び堆積土砂等の現地調査について
- 調査目的：災害ごみ及び堆積土砂等の現状調査とその早期解決に向けた課題検証



災害ごみ受入場所の調査  
(くま川ワイワイパーク)



堆積土砂3次集積所の調査  
(八代市球技場)



公費解体仮置場の調査  
(くま川ワイワイパーク)

- 調査内容：小中学校の再開支援について  
被災者の生活再建の支援について
- 調査目的：日常に欠かすことのできない当該学校の再開及び被災者の生活再建への支援

## 文教福祉部会



八竜小・坂本中学校両校長  
との意見交換



坂本中学校の教育活動視察  
(日奈久中学校)



復興ボランティアセンターとの  
意見交換

## 経済企業部会

- 調査内容：現地視察(坂本町管内の農地、農道・林道、河川等、植柳・大鞘漁港、八代・鏡町漁業協同組合)について
- 調査目的：産業復興に向けた取組の支援



農道崩落現場の調査



災害漂流ごみの調査  
(大鞘漁港)



八代漁協との意見交換

## ◎復興に向けた市議会の継続的活動

市議会といたしましては、災害への対応が復旧から復興の段階へと移りつつあることから、令和2年11月13日をもって「八代市議会災害対策会議」については解散いたしました。今後は、坂本町の早期復興を目指し、その活動を部会から各常任委員会に移し、調査・活動を引き続き継続してまいります。

## 本会議・常任委員会 LIVE中継(生中継)

視聴をご希望の方は、  
市議会のホームページ

<http://www.city.yatsushiro.lg.jp/gikai/default.html> 内の

「インターネット議会中継」

及び

「中継ライブラリ」を

ご覧ください。



また、本紙面から、各議員の顔写真の下にある2次元コード(QRコード)をスマートフォンやタブレット端末で読み取ると、その議員の質疑・一般質問の動画を簡単に見ることができます。

※視聴にかかるデータ通信料等は、ご本人の負担となります。

※録画映像の配信内容は、八代市議会の公式記録ではありません。

## まちのうごき



令和2年11月28日、JA やつしろ中央い製品集荷所で新型いぐさカセット式移植機、新型いぐさ苗処理機のお披露目式が行われ、市議会からは、議長及び経済企業委員会正副委員長、八代市議会い業振興議員連盟(会長・副会長・事務局長)が参加しました。

これは、生産者や県、市、市議会等の関係団体からの強い要望を受け、株式会社クボタが製造を再開したもので、来年度までにいぐさ移植機88台、苗処理機86台がリース導入されます。

式典の後には生産者のイグサ田において、定植の実演も行われました。

## 編集後記

二〇二一年の新しい年を迎え、早いもので一カ月が経ちました。

昨年から新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威をふるっており、その中、令和二年七月豪雨では、坂本町を中心に甚大な被害が発生いたしました。市議会といたしましては、発災後、ただちに災害対策会議を設置し、部会制による活動を踏まえ、解散後はその機能を各常任委員会に引継ぎました。今後は、八代市議会災害時等危機管理マニュアルに則り、各常任委員会が市民の皆さま方に寄り添った適切な調査・活動を行なってまいります。

本年は、本市の将来を見据えた「第一期八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を執行部において策定中であり、行政と議会が一体となり、地方創生の取組を進め、持続可能な八代の実現を目指してまいりますので、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。

八代市議会広報委員会

◎本紙に関する御意見・御要望はこちらまで TEL 32-5984・FAX 33-4440  
市役所ホームページアドレス <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/>

